

2024年2月7日

独立行政法人日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社KSK（代表取締役社長 牧野 信之、以下「当社」という）は、このたび、独立行政法人日本学生支援機構（以下、「同機構」という）が発行するソーシャルボンド（第74回日本学生支援債券、以下「本債券」という）への投資を決定しましたので、お知らせいたします。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、日本格付研究所（JCR）からセカンド・パーティー・オピニオンを取得しており、本件は「ソーシャルボンド」として発行されます。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献します。

当社グループは、本債券等のソーシャルボンドへの投資をはじめ、経営理念「敬天愛人」ならびにグループ企業行動憲章に則った企業活動を通じて、豊かな未来を創造するとともに、人間中心の経営を実践し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上



Team KSK

株式会社KSK